



# 社協だより

Facebook



Twitter



編集・発行

社会福祉法人 大洲市社会福祉協議会

〒795-0064 大洲市東大洲270-1

TEL 0893-23-0313/FAX 0893-23-0295

http://www.ozushakyo.jp

大洲市社協

検索



## 街頭募金にご協力いただきました！～赤い羽根共同募金～

10/1  
(金)



小さな子どもさんがうーちゃんに「どーぞ！」(#~#)

10/9  
(土)



ピンクの法被は、大洲市母子寡婦福祉  
連合会の皆さんです ↑  
↓(オズメッセ、愛たい菜にて)



赤い羽根共同募金

今年は「劇場版  
じゅじゅつかいせん ぜろ  
呪術廻戦 0」  
とコラボ！

『劇場版 呪術廻戦 0』  
と赤い羽根共同募金のコ  
ラボレーションが実現し、  
クリアファイル募金を実  
施します。

下記の受付場所で100円以上募金をした人に特製クリア  
ファイルを差し上げます。こちらもご協力をお願いします。

【受付場所】 大洲市社会福祉協議会(本所・長浜支所・  
肱川支所・河辺支所)

【受付期間】 令和3年12月28日(火)まで

なお、数には限りがありますので、ご了承ください。

【お問い合わせ先】大洲市社会福祉協議会

☎23-0313



## フードドライブに取り組んでいます！②



今回は、令和3年10月から**フジグラン大洲**で始まったフードドライブ事業について紹介します。

(株)フジが中心となり、フジグラン大洲と愛媛県、NPO法人eワーク愛媛(えひめフードバンク愛媛)、大洲市社会福祉協議会とが連携して実施しています。(愛媛県内のフジ各店舗でも順次取り組みを開始しており、令和3年10月時点で県内13店舗での実施となっています。)

開始前の打合せでは、フジ本部の担当者から「環境調和型企業を目指し、環境に対する取り組みや意識啓発を行っている。今回、その活動の一つとしてのフードドライブ事業に行政と民間、地域の方と一緒に取り組む。生活者の意識や行動が変わってくることも期待したい」とのお話がありました。また、フジグラン大洲店長の矢野さんは「7月に一度実施した時には、色々な方が思いをもってご協力いただいていた。物を売るだけでなく地域貢献の一翼を担いたい」と語っておられました。

県の担当者によると「愛媛県は毎日5.1トン(県民一人当たりおにぎり1個分)の食品ロス(廃棄)がある。皆さんと一緒にフードロス削減の仕組みを作りたい」とのこと。大洲市社協からは「今回の活動が加わることで、生活にお困りの方々への支援を更に充実することができます」と期待と感謝をお伝えしました。今後も皆様のご協力を、よろしくお願い致します。

なお、**大洲市社会福祉協議会本所**でも受付を行っておりますのでご協力をお願いします！



2021年7月実施時の様子



★設置場所は、**アクトピア大洲立体駐車場側の入り口**から入ってすぐ左側です★



★毎週月曜日に社協が回収に伺います★

## 災害ボランティア研修会が2年振りに開催されました！

令和3年10月17日(日)に大洲市ボランティア連絡協議会(以下、市ボラ連という。)主催の災害ボランティア研修会が、大洲市危機管理課成見一二三防災専門官を講師に、職員の方にも協力していただいて開催されました。

近年、大規模災害が頻発する中で改正された避難情報等や、避難所での感染予防対策などについての講義、そして避難所配置資器材等の取扱い訓練を行いました。

市ボラ連のメンバーの皆さんも、「おー！これは便利」とか「簡単に設営できるね」などと和気あいあいと研修を行うことができました。コロナ禍ということもあり、市ボラ連のメンバー限定の研修となりましたが、感染予防を徹底し、徐々に市ボラ連の活動を再開しているところです。

大洲市危機管理課では、公民館等からの依頼があれば、地域に出向いて、今回のような講義や取扱い訓練を行っているそうです。皆さんもそのような機会があれば、是非、参加してみてください。



↑屋内型避難所用テント  
← 段ボールの間仕切り



## ～社会福祉士現場実習レポート～



### 高知県立大学 3回生 まさつきあやな 正月絢菜

私は、実習が始まったばかりの頃は緊張していましたが、職員の方や地域住民の方が温かく迎え入れてくださったおかげでとても充実した実習になりました。

この実習を行うにあたって私は「サロン活動について知る」という課題に焦点をあてて実習を行いました。私は実習の多くをオンラインで体験しましたが、サロンに関わっている様々な人に実際にお話を聞くことが出来ました。私は今までサロンの役割として**参加者同士が交流することができる場づくり**であると考えていましたが、それだけではないと気づきました。折り紙や編み物、塗り絵などはプログラムによって自分自身の得意分野などを活かすことができる機会になり、**生きがいの一つになるのではないか**と思いました。また、互いに教え合って活動するため「支える」「支えられる」という関係性ではなく**互いに支え合う**という住民の関係性も構築されていると思います。このようにサロンには様々な効果があると知り、サロンの重要性を感じたと同時に高齢化やコロナ禍による継続の問題があることも分かりました。



9/27に「実習報告会」を行いました

サロン以外にも多くのことを学ぶことが出来ました。これは**コロナ禍という大変な状況の中でも地域住民の皆様・職員の皆様・関係機関の皆様が快く協力してくださったおかげ**です。本当にありがとうございました。この学びを糧にしてより一層勉学に励んでいきます。

これは**コロナ禍という大変な状況の中でも地域住民の皆様・職員の皆様・関係機関の皆様が快く協力してくださったおかげ**です。本当にありがとうございました。この学びを糧にしてより一層勉学に励んでいきます。



肱川の養老酒造さん他、被災地を訪問



### 聖カタリナ大学 3回生 よねだともよ 米田知世

私は、実習が始まる前や、実習が始まってからの1週間はとても緊張していました。自分自身の課題にも追われつつ新しい環境にも慣れなければならず、くじけそうになってしまうこともありましたが、職員の方々から私たちに気をかけてくださり、温かく接してくださったおかげで、実習をやりきることが出来ました。

実習ではコロナ禍ということでしたが、現場に訪問させていただいたり、色々な方にお話を聞かせていただくなど、**たくさんの学びの場を設けて**くださいました。急遽参加が決まったプログラムもあり、どこから来たかもわからない人が急に来ることは不快に感じたりしてしまうこともあると思いましたが、それでも快く受け入れてくださったのは、**社協の職員の方と地域との関係性や、利用者さんとの関係性がしっかり出来ているから**だと感じました。**地域福祉にとって地域との信頼関係を築くことはとても大切で、社会福祉士にとっても重要なこと**です。私はコミュニケーション能力があることを長所と考えているけれど、コミュニケーション能力があるだけでは容易に信頼関係は築くことが出来ないことをこの実習を通して気づくことが出来ました。このことから、第一印象から信頼できそうと思ってもらえるような、頼りがいのある人になれるよう今後自己研鑽に励もうと思っています。

今後はこの経験を活かし、残り1年半の大学生活で**学びを深めていければいい**と考えています。今回の実習に関わってくださった皆様、本当にありがとうございました。



オンライン研修の様子



「実習報告会」の様子（社協本所にて）



こちらに掲載していた記事については、ご本人のご希望により、削除させていただきました。

**心配ごと相談所案内**

|      |   |
|------|---|
| 本 所  | <p>【一般相談】 毎週月・水曜日</p> <p>【介護相談】 毎週金曜日</p> <p>【弁護士法律相談】<br/>                 (前日までに要予約 TEL23-0313)<br/>                 毎月第1・3火曜日(12月7日と21日)</p> <p>【司法書士等法律相談】<br/>                 毎月第2・4・5火曜日および毎週木曜日<br/>                 10:00~16:00(弁護士法律相談は15:00まで)<br/>                 大洲市総合福祉センター ※祝日を除く<br/>                 TEL23-0313</p> |
| 長浜支所 | <p>12月24日(水) 13:00~16:00 長浜体育館<br/>                 TEL52-1194 ※法律相談あり</p>  |
| 肱川支所 | <p>12月6日(月) 13:30~16:30 肱川保健センター<br/>                 TEL34-2312</p>  |
| 河辺支所 | <p>12月10日(金) 9:00~12:00 河辺老人福祉センター<br/>                 TEL39-2510</p>  |

**まごころのおくりもの  
9月分**

金銭の部(指定分)

- 《肱南地区社協へ》  
 渡邊 榮一様 大洲
- 《平野地区社協へ》  
 都合 和佳様 田口
- 《三善地区社協へ》  
 村上 紀美子様 春賀
- 酒井 了子様 松山市
- 岡本 儀夫様 春賀
- 《河辺地区社協へ》  
 森本 春美様 肱川町

あたたかい善意をありがとうございました。感謝をこめて掲載させていただきます。

**俳句ひろば**

田に一礼天に一礼脱殺す

佐野 満寛

評 正に作者の事に対する丁寧な生き方のわかる句です。

ありがとうございますと夫にいっぱい秋深し

佐野 幸子

評 難病の作者へのご主人の介護、また日常の生活への心遣いへ、いっぱい感謝のありがとうございます。

明け方のちらろの声に覚めにけり

松本 朋子

評 ちちろ(蟋蟀)の雄は夏から秋にかけて鳴きます。ちらろの懸命の声に覚めてしまった作者です。

■このコーナーは、白岩チツ子先生に担当していただいております。みなさまからのお便りをお待ちしております。

大洲市社会福祉協議会

地域福祉係

TEL 23-0313

FAX 23-0295

